

鹿児島法人会賀詞交歓会

年始を盛大に祝う

鹿児島法人会（岩男秀彦会長）は11日、鹿児島市の城山観光ホテルで新年の賀詞交歓会を開き、関係者約940人が出席し、明るく素晴らしい年始となるよう年始を盛大に祝った。



賀詞交歓会 平成18年 鹿児島法人会

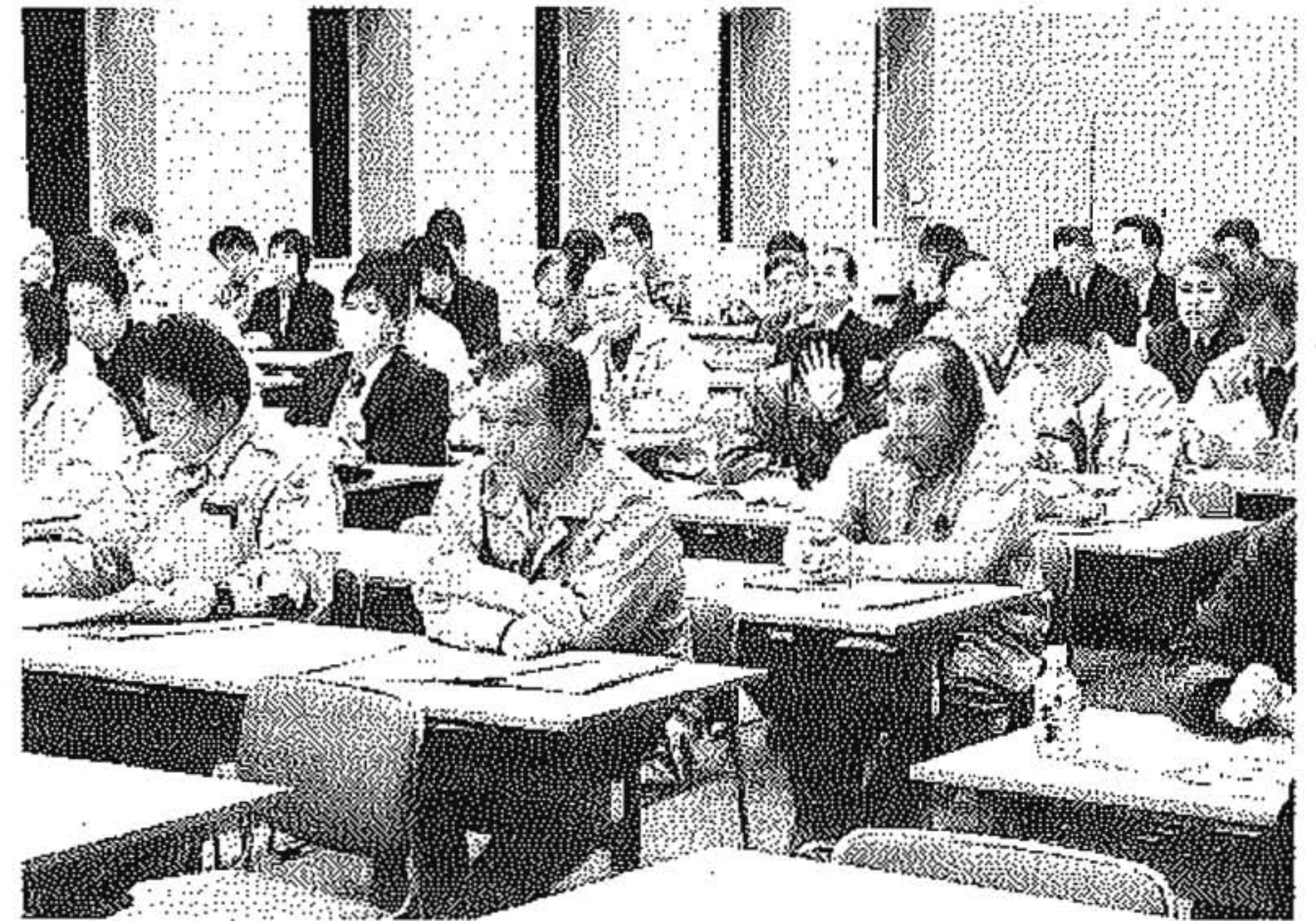
「納税意識の向上やボランティアなど積極的な取り組みで、同慶の念に堪えない。鹿児島法人会のますますの発展を祈念する」となど祝辞を寄せた。

このあと、会員拡大に貢献した中山と上町の両支部に岩男会長から表彰状が手渡された。引き続き岩男会長や日高署長、森市長らによる鏡割りが行われた後、玉利半三県中小企業団体中央会長の乾杯発声で祝宴に入った。会場では、名刺交換や抽選会などが行われ、終始和やかなムードに包まれていた。

県と県住宅・建築総合センターは11日、鹿児島市のかごしま県民交流センターでかごしま環境共生住宅講習会を開き、業界関係者ら約100人が参加して、同住宅の歩みや最近の動向などについて理解を深めた。

かごしま環境共生住宅講習会

活気ある風景創出を



背景ともなっている政策や動きを解説。「近年、地球環境の保全に対する動きはめまぐるしい進捗を見せている。京都議定書の発効やCASBEEの動きなどがその一例で、

さらに、サステイナブル建築の考え方については「地球環境や人への負荷を極力抑え、長寿命化や環境をできるだけ維持し続けること」を考へて計画されたもので、事例として間知石、大谷石、古民家の古材の再利用などで潤いと街並みの形成に努めている」と語った。



記念写真に納まる 鹿実イレブン＝県庁で

鹿実イレブン＝県庁で。選手権大会で活躍した訪れ、伊藤祐一郎県知事に準優勝の報告を行った。優勝こそ逃したものの、選手らは晴れ晴れとした表情で訪れ、職員らが大きな拍手で迎えた。

京（東京都）、国見（長崎県）に次ぐ全国3番目の勝数となった同校サッカー部。松澤隆司総監督は「連覇が達成できず、本音はぐやしい」との一言。しかし、皆さんの応援で

SPACE HOUSE が鹿児島に新登場

・簡単、スピーディーな施工  
・安全性、快適性を重視  
・コンセント、照明、換気、運搬時のコストダウン

ハウス事業部 鹿児島支店

スペースハウス「エクストラ」  
販売・リース 県下総代理店 中央仮設株式会社  
☎ (099) 229-5900 FAX (099) 32-4156

県設備関連協議会講習会

総合式 概要など理解深める

市の県市町村自治会館で「国・県の入札制度の変更に係る講習会」を開いた。参加した約370人の関係者は、国に続き県でも導入が見込まれる総合評価方式の概要や適用の意義、評価基準等について理解を深めた。

同講習会は、昨年4月の品確法施行を受け、県でも18年度から試行開始する総合評価方式の内容をより詳しく知ってもらうと開かれたもの。同日は、国土交通省九州地方整備局宮崎部の細谷房雄技術・評価課長、県土木

県設備関連協議会（山ノ内文治会長、構成団体＝県電設協会・県空調衛生工事業協会・県管工事業協会・県設備設計事務所協会）は12日、鹿児島

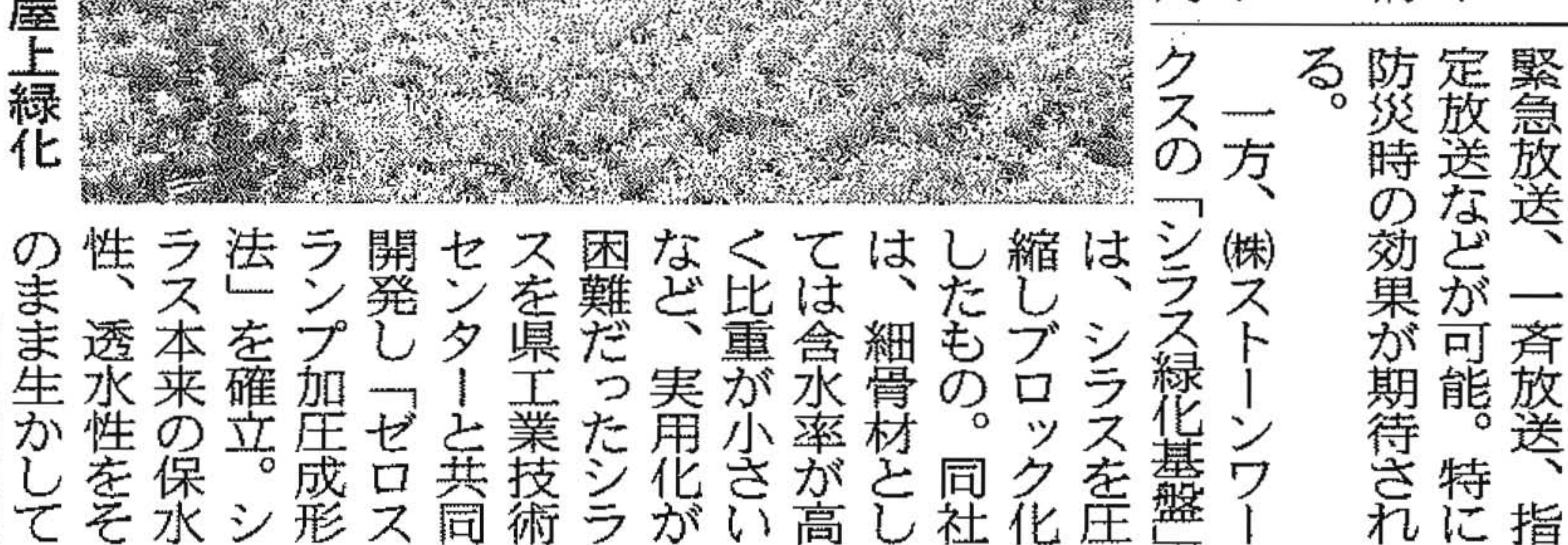
多くの関係者が出席した講習会。鹿児島市の県市町村自治会館で



講習会 概要など理解深める

部技術管理課の米元敏博技術補佐が講師を務め、実施概要から審査・評価の基準、落札者決定までの流れなどについて解説した。

価格を総合的に評価し、最も有利なものを契約者として選定する総合評価の落札方式。細谷氏は、主な評価項目に「総合的なコスト削減や工事的物の性能・機能の向上、環境・安全対策」などを挙げ、



シラス緑化基盤による屋上緑化

「シラス緑化基盤」を製造した（株）ストーンワークス（上中誠社長、大崎町）が選ばれた。なお、授賞式は2月8日午後4時から、鹿児島市の鹿児島東急インで行われる。

同賞は、本県地域産業の技術の高度化や活性化を図ることを目的に、企業等が開発した新製品・新技術を募集し、特に優れたものを3年ごとに顕彰するもので（株）エリアックが開発した「地域情報伝達無線システム」は、公民館の有線放送に替わる労力軽減と機能性を高

かごしま産業技術賞 特別賞 ストーンワークス

かごしま産業技術賞センターは11日、「第7回かごしま産業技術賞」の受賞者を発表した。大賞は、「地域情報伝達無線システム」を開発した（株）エリアック（大田育広社長、霧島市）。特別賞には「シラス緑化基盤」を製造した（株）ストーンワークス（上中誠社長、大崎町）が選ばれた。

一方、（株）ストーンワークスの「シラス緑化基盤」は、シラスを圧縮しブロック化したもの。同社は、細骨材としては含水率が高く比重が小さいなど、実用化が困難だったシラスを県工業技術センターと共同開発し「ゼロスランプ圧加成形法」を確立。シラス本来の保水性、透水性をそのまま生かして

開発を数多く手がけ、県民の皆さんのために役立ちたい。「地球規模で考えて、足もとから行動しよう」とは、環境問題に取り組むこの会の基本姿勢。さまざまなアイデアや新技術を日本中のみなから世界中に発信し続け、近い将来、この会がヒートアイランド対策の重要な情報発信源へと成長すればと思う。趣旨に賛同の地域の皆さん、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

快適な都市空間を

平田 登基男



ヒートアイランド対策推進工業会長 平田 登基男

ビル群やアスファルト舗装によるヒートアイランド化も大都市だけでなく、鹿児島市街地でも生じている。

このヒートアイランド問題を新技術の開発で解決しようと、昨年末に「ヒートアイランド対策推進工業会」を設立した。今年をその元年と位置づけ、常識を打ち破った新技術の

年頭所感

産業革命以降の化石燃料による二酸化炭素等の大量放出が主原因といわれる急速な地球温暖化。その一方で、都市域のコンクリート